



# 未来からの留学生

認定こども園あかみ幼稚園 園長 中田幸子  
認定こども園メイプルキッズ 施設長 長島弥生



温かい春の日差しが感じられるころとなりました。園の早咲きの桜が咲き始め、春の訪れを感じられる日々です。3月は、年度締めくくり、新しい旅立ちの行事もあります。この1年間いろいろとお世話になり、ありがとうございました。

## 子どもの成長にうれしさを感じています！

メイプルキッズ、あかみ幼稚園の子どもたちの成長は、心も体もしっかりと成長を見せています。

### 【0歳児】

入園当初、ハイハイ、よちよち歩きだった子どもたちも、今では、しっかりとした歩みで、保育室や、園庭を歩き回っています。ちょっとした段差、緩やかな傾斜のある場所では、バランスを取りながら、ゆっくりと歩みを進めています。小さいながらも、一生懸命バランスを取り、自分の足を踏み出す姿を見ていると、「がんばれ」と心の中でつぶやく自分がいました。



### 【1歳児】

自分のやりたいこと、目に飛び込んだものを触ることなど、興味関心が広がりはじめ、なんでも試す様子が見られていた子どもたちは、自分が思ったように体を動かすことを楽しんでいました。周りの様子を見て、まねて、〇〇のつもりで遊びを楽しんだり、食事、身支度の際に、自分でやってみようとしたり、成長を見せています。

### 【2歳児】

体を思い切り動かすことを楽しんでいた子どもたちは、ものとかかわるコーナーで、ひも通しや、パズル、シール貼りなど指先を細かく動かしながら遊ぶようになってきました。また、クラスの友達と同じものを持ったり、同じ動きをしたり、周りのことに目が向き、クラスみんなで歌を歌ったり、手遊びをしたり、クラスの集まりの時間を楽しみにするようになりました。集団での生活にこち良さを感じてきたようです。



### 【3歳児】

入園・進級して早1年。当初、少し緊張する姿を見せていた子どもたちもいましたが、今は集中して自分で遊ぶこともできるようになり、友だちと一緒に過ごすことにも、少しずつ心地よさを感じてきているようです。キッズフェスティバルまで、そして当日の活動では、友だちやおうちの人たちの前で、嬉しそうに手遊びや歌を歌っていましたね。



### 【4歳児】

4歳児クラスになって、クラス替えを経験しました。友だちのことを意識し始めるようになってきたこの時期のクラス替えは、ただ近くにいた子どもと友だちになるというばかりではなく、〇〇ちゃんって楽しいな、〇〇ちゃんとの遊びは面白いな…など、気が合う、波長が合うという感覚なのでしょうか。友だちとのつながりも、年少児の時に比べて、深くもなり、時にはもめたこともあったでしょう。この年中児の時の経験が、今後、思いやる心の基礎となっていくのですね。



## 【5歳児】

5歳児は、ちょっと先の見通しを持ちながら、目的をもって遊ぶことができるようになってきました。

友だちとイメージを出し合い、工夫して遊ぶようになり、クラスの一員としての役割も果たし、意見を出し合ったりしながら、協力して物事を進めることができるようになってきました。

キッズフェスティバルに向けての活動では、今まで体験したことや知っていることをもとに、劇を作りました。

ときに意見が対立することもありましたが、自分を大切にしながらも相手の意見も聞き、どうしたらよいかという解決策を見いだしていくこともできました。



この1年間、子どもたちそれぞれの成長に職員一同うれしさを感じています。保護者の方と子どもたちの成長をともに喜び合えたことを嬉しく思っています。今後も、よろしく願います。

## 14日は卒園式です！

先日4歳児は、5歳児から動物のお世話を引き継ぎました。引継ぎしてもらった子どもたちは、年長組になる喜びを感じているようでした。

もり組さん、小学校に行ってもがんばってね！！

園全体で、もり組の卒園を祝いました。ご卒園おめでとうございます。



## こども基本法

今年度4月からこども基本法（こども家庭庁）が施行されたことは、4月号のきらりでも触れましたが、今回は、こども基本法の中の、こども施策についてお伝えします。

こども施策は、以下6つの基本理念をもとに行われているとのことです。

子どもの権利を守ることはもちろん、子どもたちの意見表明権も大事にしています。

(以下 こども家庭庁 HP より)



### こども施策は、6つの基本理念をもとに行われます。

1 すべてのこどもは大切にされ、  
基本的な人権が守られ、差別されないこと。

2 すべてのこどもは、大事に育てられ、  
生活が守られ、愛され、保護される  
権利が守られ、平等に教育を受けられること。

3 年齢や発達 の程度により、  
自分に直接関係することに意見を言えたり、  
社会のさまざまな活動に参加できること。

4 すべてのこどもは年齢や発達 の程度に応じて、  
意見が尊重され、こどもの今とこれからにとって  
最もよいことが優先して考えられること。

5 子育ては家庭を基本としながら、そのサポートが  
十分に行われ、家庭で育つことが難しいこどもも、  
家庭と同様の環境が確保されること。

6 家庭や子育てに夢を持ち、  
喜びを感じられる社会を  
つくること。

